

安全・衛生・教育・保険の総合実務誌

# 安全スタッフ

## 特集

やっぱり最後はKYTが物をいう  
全員指差し唱和なら恥ずかしくない

藤倉化成佐野事業所

## ニュース

「隠れた開口部」が危険

安衛研 がれき処理特有の災害を分析

## 特別寄稿

復旧復興工事の安全確保へ  
現場間の連絡調整課題に

宮城労働局長 落合 淳一

WEB版はカラーでご覧になれます!!  
WEB登録(無料)のお問い合わせは



0120-972-825

No.2161

2012

5 / 1



## 社労士が教える

# 労災認定の境界線

<執筆>

一般社団法人SRRアップ21福岡会  
内野労務管理事務所

所長 内野俊洋

第128回

社有車で運転中に相手車とトラブルが発生、傷害事件に

### ■ 災害のあらまし ■

金属加工業A社に勤務するB氏は、勤続15年の営業マンである。被災当日も社有車を運転し得意先を回り営業活動に従事していた。

B氏は路地から片道1車線歩道なしの通りに出ようとしたが、見通しが悪かったため、徐行しながら通りが見渡せる位置まで前進させ車を停止させたが、先端が通りにはみ出した形になってしまった。

たまたま通りを直進してきた車があり、その車は急ブレーキを掛けて停止したため幸い事故にはならなかった。B氏は、相手を驚かせてしまったことを詫びるため右手を挙げ謝意を表し、軽く頭をさげたと左折し通りに出て、車を走らせた。

ところが、相手車はクラクションを激しく鳴らしながらB氏の車に急接近して追走してきたため車を停止させた。

相手車から猛然と加害者Cが飛び出してきたため、B氏も車外へ出たが、CはB氏の運転を口汚く罵り、さらにはB氏の人格まで傷つけるような言葉を口にしたため、B氏もカッと口論となった。

口論はしばらく続いたが、いきなりCは殴りかかり、B氏は顔面および前歯を負傷してしまった。

### ■ 判断 ■

営業中に起こったトラブルによる負傷であるため、業務遂行性については問題がないと思われるが、このケースではトラブルによる口論には業務起因性が認められないとして業務外と判断された。

### ■ 解説 ■

車の運転をめぐるトラブルはよく見聞き

する。

筆者も日頃安全運転を心がけてはいるが、深刻な事態にはならないものの、他車の運転手から睨まれたなどは一度や二度ではない。

車の運転を職業とするタクシーやトラックの運転手、営業に車を使用する営業マンやサービスマンなど、車に関わり仕事をしている人たちは、B氏のトラブルは決して他人事ではない。これらのトラブルは業務に内在する危険因子であるともいえる。

ではなぜ、B氏のケースは労働災害と認定されなかったのか。

他人の加害行為による労災認定（業務遂行性・業務起因性の認定）には次の3つの視点から総合的に判断される。

①加害行為が明らかに業務に起因しているか（災害発生の経緯、被災者の職務の内容・性質が他人の恨みや反感を買いやすいものだったか）。

②業務に起因しているようでも、加害行為が加害者の私怨や私的関係に起因しているか（この場合、業務に係る事実と加害行為との時間関係・場所的関連性が重視される）。

③発端が業務に関係があったとしても、いわゆる「ケンカ」は災害の原因が既に私怨に発展しているとみなされる（相手を挑発した事実があれば、手を出していなくても業務との関連性が否定される。ただし正当防衛などは、ケンカと同視すべきでない）。

B氏のケースを上記の視点で判断してみると、営業という業務遂行中のトラブルが発端となり発生した加害行為による負傷であることから、①の業務に起因しているかとする業務遂行性には問題はない。

しかしB氏は加害者Cと口論に及んでい



る。

口論の内容は、B氏の運転のまずさの非難から始まり、威圧的態度による侮蔑の言葉があったため、B氏は相手の運転にも問題があった（スピードを出しすぎているのではないかなど）と言り返し、その後感情的な口論の応酬となったものである。

感情的な口論の応酬となった時点で、既にケンカとなり私怨の扱いとされ業務起因性は否定されることになり、業務上の災害とは扱われないことになったのである（③に抵触）。

もしB氏がCの挑発的な態度や言動を冷静に受け止め、感情的にならずに反論対応したにもかかわらず、加害行為に遭い負傷してしまったとしたならば、業務と災害との間に相当因果関係が認められ業務起因性を否定できなかったのではないと思われる。

なお、②の事例には、業務について注意を受けた部下が、その後別の場所で上司に加害行為に及んだ場合であり、部下の感情は、その時間的・場所的関連性からして注意を受けた時点において私怨に移行していると考えられ、業務上災害とは認められないとされた例がある。